

機 関 番 号				
○	○	○	○	○

研究機関名 _____

競争的資金に係る間接経費執行実績報告書（平成23年度）

1. 間接経費の経理に関する報告

(単位：円)

(収入)		
競争的資金の種類	間接経費の納入額	備考
科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）	〇〇, 〇〇〇	
〇〇制度	〇, 〇〇〇	
合 計	〇〇〇, 〇〇〇	
(支出)		
経費の項目	執行額	備考（具体的な使用内容）
1. 管理部門に係る経費		
①人件費	〇〇, 〇〇〇	
②物件費	〇, 〇〇〇	
③施設整備関連経費	〇, 〇〇〇	
④その他		
2. 研究部門に係る経費		
①人件費	〇, 〇〇〇	
②物件費	〇, 〇〇〇	
③施設整備関連経費	〇〇, 〇〇〇	
④その他		
3. その他の関連する事業部門に係る経費		
①人件費	〇, 〇〇〇	
②物件費	〇, 〇〇〇	
③施設整備関連経費	〇〇, 〇〇〇	
④その他		
合 計	〇〇〇, 〇〇〇	

2. 間接経費の使用結果に関する報告

（被配分機関において、間接経費をどのように使用し、その結果如何に役立ったのか報告（間接経費の妥当の考え方、使途、効果等）。必要に応じて参考資料を添付。）

※科学研究費助成事業（科学研究費補助金）の様式B-7「間接経費執行実績報告書」を提出する場合には、本様式を提出する必要はない。その場合には、様式B-7に学術研究助成基金助成金の間接経費の執行実績も含めて記載すること。

様式 E-7 【作成上の注意】

本様式は、研究代表者又は研究分担者から、科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）の間接経費を譲渡されている場合に、研究機関が作成し、翌年度の6月30日までに文部科学省に提出すること。

ただし、科学研究費助成事業（科学研究費補助金）の「間接経費執行実績報告書」（様式B-7）を提出する場合には、本様式を提出する必要はない。その場合には、様式B-7に本助成金分の間接経費の執行実績も含めて作成すること。

【注意事項】

- ① 競争的資金制度については、内閣府ホームページ（<http://www8.cao.go.jp/cstp/budget/index2.html>）に掲載されている競争的資金制度の制度名を記入し、その競争的資金制度による間接経費を受け入れた額について記入すること。
- ② 科学研究費助成事業において、他の研究機関に所属している研究分担者に配分した間接経費については計上しないこと。逆に他の研究機関に所属している研究代表者より配分された間接経費については計上すること。
- ③ 間接経費を次年度以降に使用する場合は、様式B-7「間接経費執行実績報告書」の「間接経費の使用結果に関する報告」欄に未執行額と予定を記載すること。
（例）収支差額のうち〇,〇〇〇千円は、科研費の間接経費として次年度使用予定である。
- ④ 間接経費より生じた利息分を間接経費として使用した場合は利息分を含めて支出額として計上すること。その際、使用した利息の額がわかるように、利息を使用した経費の項目の下に「（うち利子使用額〇〇円）」と記入すること。
- ⑤ 研究機関独自の資金等と合算して間接経費を使用した場合については、間接経費分だけを計上すること。
- ⑥ 本様式は、文部科学省研究振興局学術研究助成課あてに提出すること。